

つるまきみなみいせきぐん6・7く
はだのしなばー87いせき
(おおはらいせき)

鶴巻南遺跡群 6・7区

秦野市No.87遺跡
(大原遺跡)

調査期間 20081201～20090115

所在地 秦野市鶴巻南4丁目

時代
縄文
古墳
奈良・平安
中・近世



作成日:20090126

概要

本調査は、神奈川県県土整備部平塚土木事務所による平成20年度緊急地方道路整備事業の歩道設置工事に伴う発掘調査です。

本遺跡は、小田急線鶴巻温泉駅の南方約200mに位置します。既に2003、2004年度にも調査が行われており、今回はその調査区に近接する北側を調査しました。調査区は2ヶ所に分かれていて、南側を6区、北側を7区と呼称しました。

調査の結果、中・近世では、ピット・土坑・道状遺構が、奈良・平安時代ではピット、土坑、溝状遺構、古代～古墳時代では竪穴住居址が、縄文時代では、落とし穴が今回の調査で初めて見つかりました。約2.1m×約0.8mの楕円形で、底

面には逆茂木さかもぎを入れたと思われるピットが2つ穿たれていました。



▲6区 C1号道状遺構



▲7区 H1号竪穴住居跡



▲7区 J1号落とし穴